

社会福祉学科 カリキュラムツリー

4年生
3年生
2年生
1年生

DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
卒業研究ゼミ2				
卒業研究ゼミ1				
	保育実践演習			社会福祉の原理と政策2 ソーシャルワーク演習(専門)4 ソーシャルワークの理論と方法4 精神保健福祉援助演習3
社会福祉学専門ゼミ3				
	社会的養護2	ソーシャルワーク演習(専門)2 <選択科目> ○○○概論 △△基礎論	権利擁護を支える法制度 ソーシャルワークの理論と方法3 保育の計画と評価	医学概論
社会福祉学専門ゼミ2				
社会福祉学専門ゼミ1				
介護概論 社会的養護1 ソーシャルワーク演習 地域福祉と包括的支援体制1	ソーシャルワーク演習(専門)1 貧困に対する支援 <選択科目> ○○○概論 △△基礎論	教育と福祉	地域福祉と包括的支援体制2 国際福祉論	社会福祉法 社会保障論1 保育内容総論
入門ゼミ				
ソーシャルワークの 基盤と専門職 社会福祉原論 精神保健福祉の原理1 精神保健福祉の原理2		社会福祉史		

①4年間で習得した専門的知識や、福祉・教育実践での学びを通して、社会や人々の生活を多角的かつ総合的にとらえ、一人ひとりの権利を尊重する一市民としての成長につなげることができる。
②学部学科での学びの成果を各自の問題意識をもとに、集団での討議を重ね、卒業研究として論理的かつ具体的にまとめることができる。
③さまざまな社会的事象や人々の生活にアプローチすることができる、専門職としての知識、倫理、思考、態度等を獲得する。

①1, 2年生での学習を基盤に、学部学科の専門的な学びとそれを支える全学教養科目(応用領域)の履修をとおして、大学での学びの全体像を把握できるようになるとともに、卒業後の進路を意識した学習の積み上げを行うことができる。
②2年間の学びを踏まえ、社会の事象や人々の生活が社会福祉の制度政策、理論、実践とどのように結びつくのか、体系的に理解できるようにする。
③領域への関心を実践での学びと結びつけ、個人、家族、集団、地域といった社会福祉の対象を理解し、専門職の仕事や方法について実習記録、報告としてまとめることができる。

①福祉の各分野での前提となる考え方や基本的内容をおさえたいうで、社会福祉の方法論を習得する。
②社会との接点を意識した関連文献の読解と論理的な思考、問いの立て方、課題分析の方法など社会科学の基礎的な知識とスキルを習得する。
③専門職に求められるソーシャルワークの基本的視点を理解するとともに、具体的な技法や表現する力を習得する。
④基本的人権や社会正義、発達の考え方に基づく福祉の価値を理解し説明できるようになる。

①大学での学びの基礎となる物事を読み解く力(リテラシー)の獲得と専門分野を学んでいくうえで必要なアカデミックスキルを身につける。
②社会的事象や社会問題への関心を広げ、社会構造を探究する力を身につける。
③基本的人権や社会正義など社会福祉が目指す基本的な考え方を知る。
④他者とのコミュニケーションの経験を通じ共感的理解をはぐくむ。
⑤地域での活動や実践の場にならぐ赴き、平和でよりよい社会を創り出す主体であることを自覚す

社会福祉学の土台となる全学共通科目・全学教養科目、社会福祉学の教養を広める専門科目の選択科目群

● 社会福祉学の中心となる科目 ○ 履修を推奨する科目

<アドミッション・ポリシー>
自分の新たな可能性を発見しようとしている人
社会福祉と人間の生涯の発達について関心をもち、乳幼児期から青年期、高齢期まですべての人々の生活問題や発達支援とその解決に向けた具体的な方策に関心をもつ人
多様な他者との関わりの中で学ぼうとし、また自ら主体的に学ぶ姿勢を有している人
社会福祉学を学ぶ基礎となる読解力、歴史や現代社会についての基本となる知識や関心をもつ人

社会福祉学科（社会福祉士領域）カリキュラムツリー

4年生
3年生
2年生
1年生

DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
卒業研究ゼミ2				
卒業研究ゼミ1				
社会福祉学専門ゼミ3				
ソーシャルワーク実習指導2・ソーシャルワーク実習2・ソーシャルワーク実習指導3				
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p>**ソーシャルワーク演習(専門)2</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>**権利擁護を支える法制度 **ソーシャルワークの理論と方法3 保育の計画と評価</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>**医学概論</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>**刑事司法と福祉 **福祉サービスの組織と経営</p> </div> </div>				
社会福祉学専門ゼミ2				
社会福祉学専門ゼミ1				
ソーシャルワーク実習指導1・ソーシャルワーク実習1				
<p>介護概論 社会的養護1 **ソーシャルワーク演習 **地域福祉と包括的支援体制1</p> <p>**保健医療と福祉</p>	<p>**ソーシャルワーク演習(専門)1 **ソーシャルワーク演習(専門)2 **貧困に対する支援</p> <p>**ソーシャルワークの理論と方法1 **ソーシャルワークの理論と方法2 **社会福祉調査の基礎</p>	<p>教育と福祉</p>	<p>**地域福祉と包括的支援体制2 国際福祉論</p>	<p>社会福祉法 **社会保障論1 **社会保障論2 保育内容総論</p>
入門ゼミ				
<p>**ソーシャルワークの 基盤と専門職</p> <p>社会福祉原論 精神保健福祉の原理1 精神保健福祉の原理2</p>		<p>社会福祉史</p> <p>**高齢者福祉論 **児童・家庭福祉論 **障害児者福祉論</p>		

①4年間で習得した専門的知識や、福祉・教育実践での学びを通して、社会や人々の生活を多角的かつ総合的にとらえ、一人ひとりの権利を尊重する一市民としての成長につなげることができる。
②学部学科での学びの成果を各自の問題意識をもとに、集団での討議を重ね、卒業研究として論理的かつ具体的にまとめることができる。
③さまざまな社会的事象や人々の生活にアプローチすることができる、専門職としての知識、倫理、思考、態度等を獲得する。

①1, 2年生での学習を基盤に、学部学科の専門的な学びとそれを支える全学教養科目（応用領域）の履修をとおして、大学での学びの全体像を把握できるようになるとともに、卒業後の進路を意識した学習の積み上げを行うことができる。
②2年間の学びを踏まえ、社会の事象や人々の生活が社会福祉の制度政策、理論、実践とどのように結びつつか、体系的に理解できるようになる
③領域への関心を実践での学びと結びつけ、個人、家族、集団、地域といった社会福祉の対象を理解し、専門職の仕事や方法について実習記録、報告としてまとめることができる。

①福祉の各分野での前提となる考え方や基本的内容をおさえたうえで、社会福祉の方法論を習得する。
②社会との接点を意識した関連文献の読解と論理的な思考、問いの立て方、課題分析の方法など社会科学の基礎的な知識とスキルを習得する。
③専門職に求められるソーシャルワークの基本的視点を理解するとともに、具体的な技法や表現する力を習得する。
④基本的人権や社会正義、発達の考え方に基づく福祉の価値を理解し説明できるようになる。

①大学での学びの基礎となる物事を読み解く力（リテラシー）の獲得と専門分野を学んでいくうえで必要なアカデミックスキルを身につける。
②社会的事象や社会問題への関心を広げ、社会構造を探索する力を身につける。
③基本的人権や社会正義など社会福祉が目指す基本的な考え方を知る。
④他者とのコミュニケーションの経験を通じ共感的理解をはぐくむ。
⑤地域での活動や実践の場にならぐ赴き、平和でよりよい社会を創り出す主体であることを自覚す

社会福祉学の土台となる全学共通科目・全学教養科目、社会福祉学の教養を広める専門科目の選択科目群

- 社会福祉学の中心となる科目
- **社会福祉士に関する科目
- 履修を推奨する科目

<アドミッション・ポリシー>
 自分の新たな可能性を発見しようとしている人
 社会福祉と人間の生涯の発達について関心をもち、乳幼児期から青年期、高齢期まですべての人々の生活問題や発達支援とその解決に向けた具体的な方策に関心をもつ人
 多様な他者との関わりの中で学ぼうとし、また自ら主体的に学ぶ姿勢を有している人
 社会福祉学を学ぶ基礎となる読解力、歴史や現代社会についての基本となる知識や関心をもつ人

社会福祉学科（精神保健福祉士領域）カリキュラムツリー

DP1

DP2

DP3

DP4

DP5

4年生

卒業研究ゼミ2

卒業研究ゼミ1

精神保健福祉援助実習指導2・精神保健福祉援助実習指導3・精神保健福祉援助実習2

ソーシャルワーク演習(専門)3
**社会福祉の原理と政策1

精神障害リハビリテーション論

**社会福祉の原理と政策2
ソーシャルワーク演習(専門)4
ソーシャルワークの理論と方法4
**精神保健福祉援助演習3

社会福祉学専門ゼミ3

精神保健福祉援助実習指導1・精神保健福祉援助実習1

**ソーシャルワーク演習(専門)2

精神保健福祉援助演習1
ソーシャルワークの理論と方法(専門)1

**権利擁護を支える法制度
ソーシャルワークの理論と方法3
保育の計画と評価

精神保健福祉援助演習2

**医学概論

刑事司法と福祉
精神保健福祉制度論

3年生

社会福祉学専門ゼミ2

社会福祉学専門ゼミ1

介護概論
社会的養護1
**ソーシャルワーク演習
**地域福祉と包括的支援体制1

ソーシャルワーク演習(専門)1
ソーシャルワーク演習(専門)2
貧困に対する支援

社会福祉調査の基礎
ソーシャルワークの理論と方法1
ソーシャルワークの理論と方法2

教育と福祉

精神医学1
精神医学2

**地域福祉と包括的支援体制2
国際福祉論

社会福祉法
**社会保障論1
**社会保障論2
保育内容総論

2年生

入門ゼミ

**ソーシャルワークの
基盤と専門職
社会福祉原論
**精神保健福祉の原理1
**精神保健福祉の原理2

精神保健の課題と支援1
精神保健の課題と支援2

社会福祉史

障害児者福祉論

1年生

社会福祉学の土台となる全学共通科目・全学教養科目、社会福祉学の教養を広める専門科目の選択科目群

● 社会福祉学の中心となる科目

● **精神保健福祉士に関する科目

○ 履修を推奨する科目

<アドミッション・ポリシー>

自分の新たな可能性を発見しようとしている人
社会福祉と人間の生涯の発達について関心をもち、乳幼児期から青年期、高齢期まですべての人々の生活問題や発達支援とその解決に向けた具体的な方策に関心をもつ人
多様な他者との関わりの中で学ぼうとし、また自ら主体的に学ぶ姿勢を有している人
社会福祉学を学ぶ基礎となる読解力、歴史や現代社会についての基本となる知識や関心をもつ人

①4年間で習得した専門的知識や、福祉・教育実践での学びを通して、社会や人々の生活を多角的かつ総合的にとらえ、一人ひとりの権利を尊重する一市民としての成長につなげることができる。
②学部学科での学びの成果を各自の問題意識をもとに、集団での討議を重ね、卒業研究として論理的かつ具体的にまとめることができる。
③さまざまな社会的事象や人々の生活にアプローチすることができる、専門職としての知識、倫理、思考、態度等を獲得する。

①1、2年生での学習を基盤に、学部学科の専門的な学びとそれを支える全学教養科目（応用領域）の履修をととして、大学での学びの全体像を把握できるようになるとともに、卒業後の進路を意識した学習の積み上げを行うことができる。
②2年間の学びを踏まえ、社会の事象や人々の生活が社会福祉の制度政策、理論、実践とどのように結びつつか、体系的に理解できるようになる
③領域への関心を実践での学びと結びつけ、個人、家族、集団、地域といった社会福祉の対象を理解し、専門職の仕事や方法について実習記録、報告としてまとめることができる。

①福祉の各分野での前提となる考え方や基本的内容をおさえたうえで、社会福祉の方法論を習得する。
②社会との接点を意識した関連文献の読解と論理的な思考、問いの立て方、課題分析の方法など社会科学の基礎的な知識とスキルを習得する。
③専門職に求められるソーシャルワークの基本的視点を理解するとともに、具体的な技法や表現する力を習得する。
④基本的人権や社会正義、発達の考え方に基づく福祉の価値を理解し説明できるようになる。

①大学での学びの基礎となる物事を読み解く力（リテラシー）の獲得と専門分野を学んでいくうえで必要なアカデミックスキルを身につける。
②社会的事象や社会問題への関心を広げ、社会構造を探究する力を身につける。
③基本的人権や社会正義など社会福祉が目指す基本的な考え方を知る。
④他者とのコミュニケーションの経験を通じ共感的理解をはぐくむ。
⑤地域での活動や実践の場に自らが赴き、平和でよりよい社会を創り出す主体であることを自覚す

社会福祉学科（保育士領域）カリキュラムツリー

4年生
3年生
2年生
1年生

DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
卒業研究ゼミ2				
卒業研究ゼミ1				
保育実習2・保育実習指導2				
	**保育実践演習		社会福祉の原理と政策1	社会福祉の原理と政策2 ソーシャルワークの理論と方法4
社会福祉学専門ゼミ3				
保育実習指導1（事前）・保育実習1A・保育実習1B・保育実習指導1（事後）				
	**社会的養護2 子どもの食と栄養 子ども家庭支援論 乳児保育2	ソーシャルワーク演習(専門)2	権利擁護を支える法制度 ソーシャルワークの理論と方法3 **保育の計画と評価 子どもの健康と安全	医学概論
社会福祉学専門ゼミ2				
社会福祉学専門ゼミ1				
介護概論 **社会的養護1 ソーシャルワーク演習 地域福祉と包括的支援体制1	ソーシャルワーク演習(専門)1 ソーシャルワーク演習(専門)2 貧困に対する支援 子ども家庭支援の心理学 子どもの理解と援助 保育内容演習「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」 子育て支援 ピアノ2・ピアノ3 保育内容の理解と方法2 保育内容の理解と方法4	教育と福祉 保育者論 乳児保育1 保育内容特別演習2	地域福祉と包括的支援体制2 国際福祉論	社会福祉法 社会保障論1 社会保障論2 **保育内容総論 社会福祉援助技術論1
入門ゼミ				
ソーシャルワークの 基盤と専門職 社会福祉原論 精神保健福祉の原理1 精神保健福祉の原理2	ピアノ1	社会福祉史 保育内容の理解と方法1 保育内容の理解と方法3		
保育の心理学・保育福祉入門 子ども家庭福祉・教育心理学				

①4年間で習得した専門的知識や、福祉・教育実践での学びを通して、社会や人々の生活を多角的かつ総合的にとらえ、一人ひとりの権利を尊重する一市民としての成長につなげることができる。
②学部学科での学びの成果を各自の問題意識をもとに、集団での討議を重ね、卒業研究として論理的かつ具体的にまとめることができる。
③さまざまな社会的現象や人々の生活にアプローチすることができる、専門職としての知識、倫理、思考、態度等を獲得する。

①1, 2年生での学習を基盤に、学部学科の専門的な学びとそれを支える全学教養科目（応用領域）の履修をとおして、大学での学びの全体像を把握できるようになるとともに、卒業後の進路を意識した学習の積み上げを行うことができる。
②2年間の学びを踏まえ、社会の現象や人々の生活が社会福祉の制度政策、理論、実践とどのように結びつつか、体系的に理解できるようにする
③領域への関心を実践での学びと結びつけ、個人、家族、集団、地域といった社会福祉の対象を理解し、専門職の仕事や方法について実習記録、報告としてまとめることができる。

①福祉の各分野での前提となる考え方や基本的内容をおさえたうえで、社会福祉の方法論を習得する。
②社会との接点を意識した関連文献の読解と論理的な思考、問いの立て方、課題分析の方法など社会科学の基礎的な知識とスキルを習得する。
③専門職に求められるソーシャルワークの基本的視点を理解するとともに、具体的な技法や表現する力を習得する。
④基本的人権や社会正義、発達の実践的思考に基づき福祉の価値を理解し説明できるようになる。

①大学での学びの基礎となる物事を読み解く力（リテラシー）の獲得と専門分野を学んでいくうえで必要なアカデミックスキルを身につける。
②社会的現象や社会問題への関心を広げ、社会構造を探究する力を身につける。
③基本的人権や社会正義など社会福祉が目指す基本的な考え方を知る。
④他者とのコミュニケーションの経験を通じ共感的理解をはぐくむ。
⑤地域での活動や実践の場から自らが発見し、平和でよりよい社会を創り出す主体であることを自覚す

社会福祉学の土台となる全学共通科目・全学教養科目、社会福祉学の教養を広める専門科目の選択科目群

- 社会福祉学の中心となる科目
- **保育士に関する科目
- 履修を推奨する科目

<アドミッション・ポリシー>
 自分の新たな可能性を発見しようとしている人
 社会福祉と人間の生涯の発達について関心を持ち、乳幼児期から青年期、高齢期まですべての人々の生活問題や発達支援とその解決に向けた具体的な方策に関心をもつ人
 多様な他者との関わりの中で学ぼうとし、また自ら主体的に学ぶ姿勢を有している人
 社会福祉学を学ぶ基礎となる読解力、歴史や現代社会についての基本となる知識や関心をもつ人